

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校学校特殊建築物定期報告委託事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	03	54
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	建築基準法に基づく特殊建築物に該当する建築物の定期報告
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法に基づく特殊建築物の建築物、設備、防火設備の定期報告に係る調査 ・特定行政庁への定期報告の提出 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法に基づき、建築物、設備及び防火設備については、平成29年度より流山市が特定行政庁になったことから、毎年点検が義務づけられる。 ・本事業を活用し、施設整備の改修、改善を実施している。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	要是正校数(建築設備)	7	9	8	校	↓↓↓	
②	是正校数(建築物)※3年毎		0		校	↓↓↓		
③	要是正校数(防火設備)			8	校	↓↓↓		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・本事業は、校舎改修事業や大規模改造事業等の基礎資料となっている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,409,900	2,135,250	2,930,240				
事業費(b)(円)		998,000	1,329,810	2,600,640				
うち一般財源		998,000	1,329,810	2,600,640				
職員給与費(c)(円)		411,900	805,440	329,600				
人役・職員(人)		0.06	0.12	0.05				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	報告業務にとどまらず、施設の適正保全のための視点からも調査を行うことにより、施設の保全に寄与する。	③取組における課題(Check)	他課事業に重複する内容のものが見られる。
②H30に実施した取組(Do)	定期報告の内容を基に施設や設備の現状を把握し、改修や更新計画策定の基礎資料とした。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	包括的デザインビルドにおける業務委託と一本化を目指す。